

[45 回生同窓会報告]

45 回生同窓会報告

西尾 道保

去る平成 22 年 8 月 28 日(土)残暑の中で 45 回生同窓会を開催しました。今までも 6 回程同窓会は行われてきましたが、卒業以来 40 年、岐阜高山で学友会総会が開催された折、多くの仲間が定年を迎えたのを機会に、参加者一同意気投合して毎年開催、場所はそれぞれご当地開催という事になり今回私が幹事を承りました。

私の住む町は人口 2,300 余人の過疎地域、今は旅館もありませんので、高校生活を送った隣町、岐阜県恵那市岩村町の岩村山荘で開催しました。小泉首相の信奉する、かの佐藤一斉の出身地の城下町でもあります。日本 3 大山城のひとつ、標高 777m の岩村城の天守閣跡に連なる緩やかな坂道の町並みを登りきると、かつての武家屋敷跡の石垣の上に立つ岩村山荘にたどり着きます。

当日、北は千葉県、南は山口県から遠路はるばる 16 名が馳せ参じてくれました。

この仲間の酒好きは、レ専校時代からの専売特許！ 午後 3 時、山荘へチェックインするや否や例のごとく酒盛りが始まりました。宴会時間の午後 6 時を迎えるころにはすっかり出来上がって、それから再び囲炉裏を囲んで



で宿の名物戦国料理、そして二次会は私の同級生のカラオケ店へ、宿の主人も驚くほどの飲みっぷりでした。(飲みっぷりだけは 20 代!) 時の経つのを忘れて語り合ったレ専校時代、楽しいひと時はあっという間でした。

翌日は車に分乗し木の実峠を越え私のふるさとへ、矢作川の天然鮎を頬張りながら長野県平谷村の温泉「ひまわり」まで案内しました。有名な観光地でもないの少し距離がありましたが、皆さん二度と訪れる事はないと思い、つい張り切ってしまいました。

「空・山・川すべてがすばらしい紺碧色だった。でもちょっと遠かったかな！」友人からの便りにありました。

この 1 年で同級生 4 名が亡くなりました。宴席で黙祷後、今回参加できなかった方にも呼びかけて、ぜひ来年の京都で会おうと誓いました。

以上